

国語科【3年生「俳句の可能性 / 俳句を味わう」】

教師が作成したスライドから自分に合ったワークシートを選択し、俳句の知識を獲得していく。

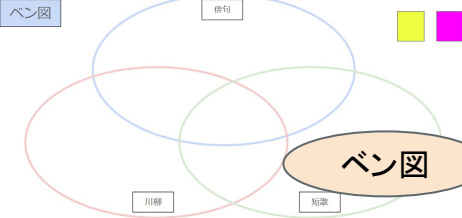
俳句の知識

- ・()・()・()の三句、()音からなる
※定型の音数より多い→() 少ない→()
- ・「涼し」という夏を表すなど、季節を表す言葉→()
→この約束を()という
※季節分類は「歳時記」に従うので、現在の季節感とずれているものがあります！
- ・「や」「かな」など俳句の中で切れ目に使う言葉→()
- ・自由な音律の俳句→()
- ・季語のない俳句→()

穴埋め

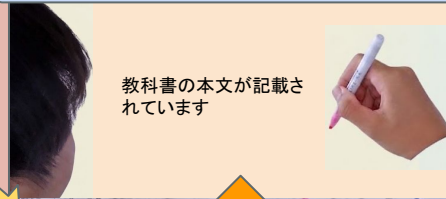
俳句の知識

- 俳句の決まり事や形式について、短歌や川柳と比較しながら整理しよう



ベン図

教科書の重要語句に線を引く



仲間と相談し合う

俳句の知識

- 俳句の決まり事や形式について、短歌や川柳と比較しながら整理しよう

表

	俳句	短歌	川柳
定型			
季語			

表

俳句の知識

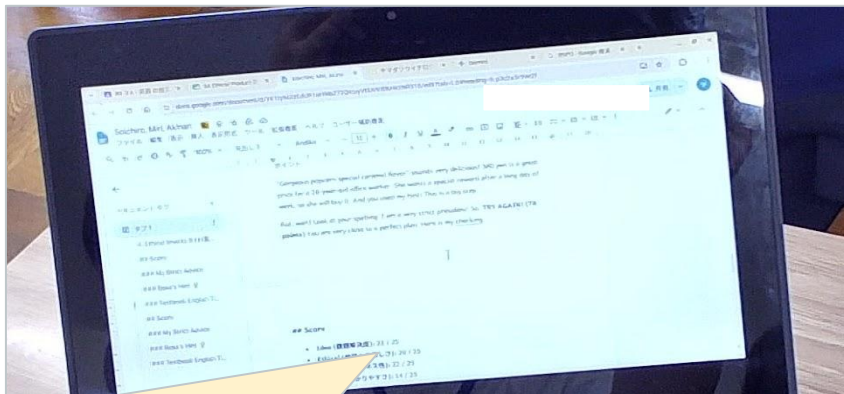
- 俳句の決まり事や形式について、短歌や川柳と比較しながら整理しよう

自由記述

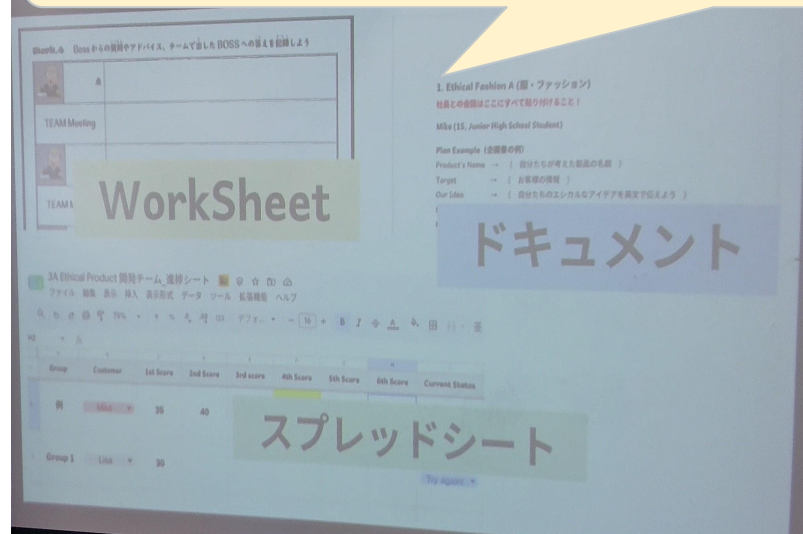
俳句について、短歌や川柳と比べながら、「五・七・五」の型や季語の使い方等を調べた。穴埋め、ベン図、表、自由記述等、自分の考えを整理しやすいワークシートを選び、共有できるのがデジタルの強みである。加えて教科書に線を引いたり、仲間と相談したりすることで、情報同士が結び付き、俳句の特徴を様々な視点から捉えることができる。

英語科【3年生「Unit2 How do you choose your clothes?」】

ワークシートやドキュメントで学習内容を共有し、スプレッドシートで進捗状況を共有する。



生成AIを社長に見立てて、生徒たちは開発チームとして商品を英語で提案する。社長とやり取りすることとおして、正しい文法を身に付けていく。



交渉相手に見立てた生成AIからの批判的な指摘の意図を読み解き、英語での確に対応する力を養う。言葉の背景にある状況や置かれている立場に着目し、英語を駆使して目的や場面に応じた最適な表現を整理・再構築するという、英語の見方・考え方を働かせた活動である。

音楽科【2年生「合唱曲 越えてゆけ」】

スプレッドシートで1時間の授業内容を振り返る。



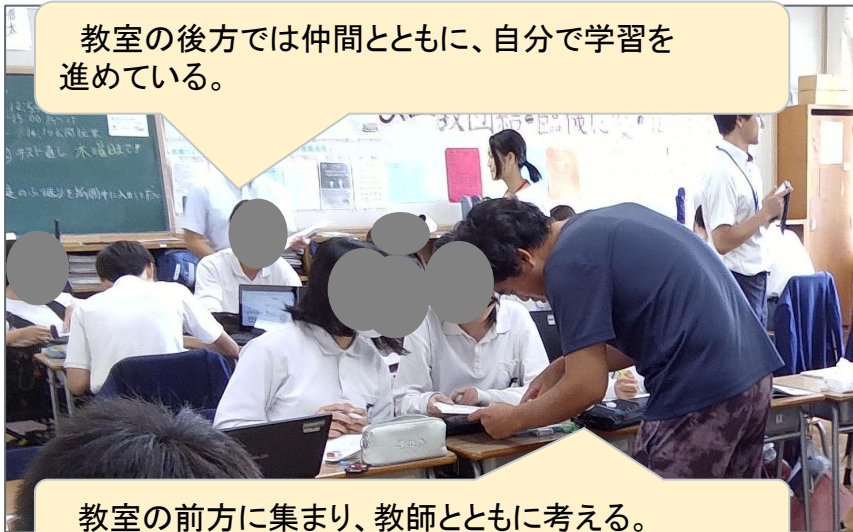
「歌ってみてどうですか」と練習後すぐに改善点を話し合う。

めあての設定	録音 (パート)	振り返り	
		自己評価	何を学び、どのように学習を進めたら何ができるようになったか。 次回はどのように、何をすべきか等
B		A	二番のサビは途中で転調したり、男声が生な旋律になったりするから音取りとかがめっちゃ大事になってくると思った。僕は結構音取りできたけど他のパートと合わせたらちょっとくちゃくちゃになりそう感じがしたら自己評価はAにしておいた。
A		A	うーのところがまだ難しくリズムを合わせるのとかおんていとかがまだわからなかったからつぎはそこを意識してうたう
A		A	「うー」のところがリズムが難しく、リズムを覚えることができなかったため、次回からは全体のリズムを覚えて、合わせたときに歌えるようにしていきたい。楽譜に蛍光ペンで書いたことで歌うところがはっきりしてわかりやすかった。間があくところ（Eの最後など）では、どれだけ間を空ければいいかが難しかった。そこもふくめて意識して歌う。
B		A	「背中を押したなら」「押したなら」のところが音が高く、音程が取れなかったので行きの吸い方を意識するなどの工夫をして次は頑張って取れるようにしたい。「Uhー」能取湖のリズムと音程が難しく、最後上がったと思ったら下がるなどあん角が掴めなかった。次は口パクでリズムや音程を覚えさせていきたい。最後のところもどこで「Ahー」というのわからなかったり、全体的に声が小さかったので楽譜をよく見たり、楽譜にどのくらい開けるか、強くするかをメモしたり、姿勢や口のおけ方を意識すべきだと考えた。

パート練習直後に振り返る活動は、歌った後の感想が鮮明なうちに課題を客観視(メタ認知)させ、即座に自分たちの歌唱を改善することができる。この気づきをスプレッドシートに記録して保存・共有することで、ICTを生かした自己調整力を育むことができる。

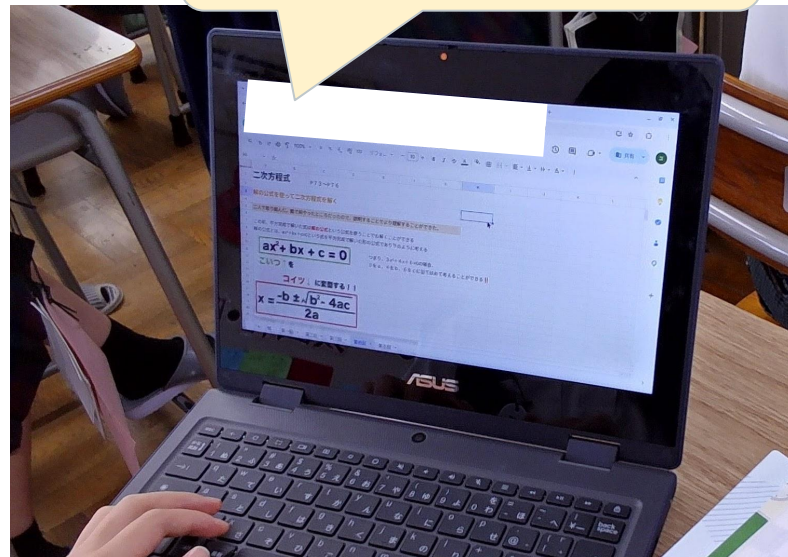
数学科【3年生「二次方程式」】

教室の後方では仲間とともに、自分で学習を進めている。



教室の前方に集まり、教師とともに考える。

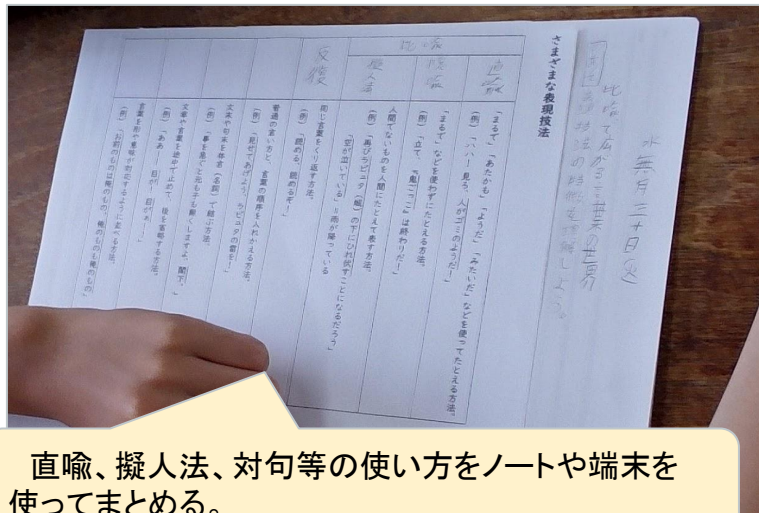
白紙のドキュメント、スライド、スプレッドシートの中から自由に選んで、学んだことをまとめる。



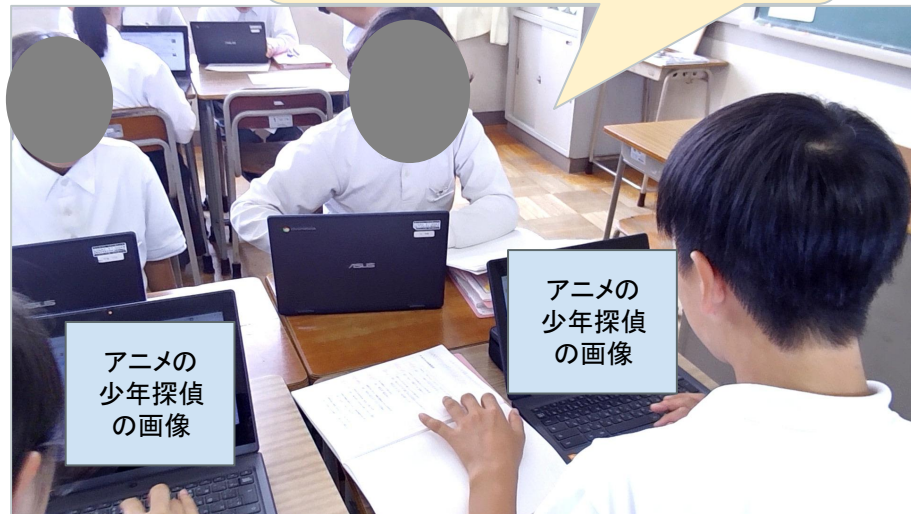
教室の中に教師が重点的に支援する空間と、仲間とともに学習を進めていく空間をつくらせることに加え、それぞれの空間で仲間と関わることも保障している。また、使いたいアプリケーションも自らの学びに応じて選択できるようになっており、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させる環境が整えられている。

国語科【1年生「さまざまな表現技法」】

有名なアニメの台詞にはどんな技法が使われているか考える。



直喩、擬人法、対句等の使い方をノートや端末を使ってまとめる。



直喩や隠喩、擬人法などの表現技法の特徴を、アニメの有名な台詞を「直接的な表現」に置き換えて比較することによって整理した。「もしストレートに言ったらどう変わるか」を考えることで、表現に込められた効果やニュアンスの違いを捉え、日常生活でも言葉に敏感になり、状況や相手に応じた豊かな表現力を高めていくことにつながる。